

東近江市



■活動内容

中野ヴィレッジハウスは、御代参街道の中野地区に残る塩蔵を改修して地域の人たちが自由に交流できる場を目指しています。

日～火と金～土はコミュニティカフェを開き、木曜日は中野地区のボランティアセンターが設置されています。また、ゴールデンウィーク、夏休み、ハロウィン、クリスマスやお正月には特徴のあるイベントを運営委員会が企画して、カフェのスタッフや地域の人たちと一緒に実施しています。

運営委員、カフェスタッフ、ボラセンのスタッフや地域の有志が力を合わせて、地域の見守りにも力を入れています。

■団体名	一般社団法人中野ヴィレッジハウス 代表者 西川 勉
■参加者	地域内外の住民誰でも
■活動拠点 連絡先	東近江市東中野5-21 TEL：0748-56-1371 mail：nakanovh@gmail.com

■活動のきっかけ・実現までの経緯

塩蔵に使われていた倉庫の再利用を考えていた時、近江市「空き家等×α」の可能性を生み出すモデル事業を活用し、自由でインフォーマルな地域の活動拠点が実現できないかと地域の人たちや地域づくりに関心を持つ人たちが集まり、様々な可能性について議論をしてきました。

上記の事業の採択が決まり、一般社団法人を設立し中野地区まちづくり協議会や中野総区自治会の協力と理解のもと、コミュニティカフェの運営も、この地域で活動する子育て支援の地球ハートヴィレッジが担当することでオープンすることとなりました。持続可能な運営のため市社協や地区社協、各種団体の協力のもと歩み始めています。



利用者さんの声 <カフェ/ボラセン>

* 地域で気軽にお茶を飲んだり食事をしたりフラッと立ち寄りたりする場所が増えて嬉しい。ここではイタリアなどこの地区ではあまり馴染みのなかった料理が味わえることも魅力の一つです。

* 気軽に立ち寄る場所が出来ました。夏休みには子どもたちの活動があったり、野菜のおすそ分け市などもあります。沢山の人たちとお話が出来ることが魅力です。

活動者の声 <運営委員/カフェ>

* 楽しい企画を考えて多くの人たちに来ていただきたいと思っています。今年のハロウィンでは近所の人たちにも協力していただき、子どもたちがそのお家を訪ねて「トリックオアトリート！」の声でお菓子を渡す役割も担っていただきました。

* 毎日のメニュー作りは大変ですが、美味しいと言ってもらえることが嬉しいです。一緒に企画したイベントが盛り上がり達成感があります。

■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

オープンするまで2年間ほどこの地域で、この場所で出来ることを皆で沢山考えてきました。そして、オープンして間もなく2年が過ぎようとしています。この間、多くの協力者を得て考えてきたことが次々と実現してきました。地域の方々の底力を見せていただいたと思います。多くの人に来ていただき、多くの意見や提案をしていただけるのですが、出来るだけ具体的に実現するように取り組んでいます。いっぱいいっぱいになっていないか？などと心配して声をかけて下さる方もおられるのですが、急がず出来ることから出来るだけ、というペースは守っているつもりです。スタッフが疲弊しないのは、ここでの活動が楽しいからだと思っています。スタッフが楽しくなければ参加していただく方々が楽しいはずがないと思います。

地域には隠れたお宝がいっぱいあります。これらを発見していく喜びこそがエネルギーになっています。特に子どもたちが輝ける場を、子どもたちと一緒に作っていければ最高だと思っています。